

心からのご寄付を ありがとうございました

12月20日～1月22日

村上順子	現金	12,270円
村田充子	現金	1,000円
中野徹	現金	5,000円
鈴木純子	現金	1,340円
桜友会	現金	700,000円
日立米沢電子(株)友和会	切手	15,660円
高橋真知子	現金	2,260円
ピアノ三重奏(福島)	現金	250,000円
ピアノ三重奏(埼玉)	現金	110,000円
伊藤真理	現金	2,000円
切明蹊	現金	10,000円
TDK成田工場従業員一同	現金	300,000円

●佐藤さち子患者支援基金

浜崎久美子	現金	3,000円
切明蹊	現金	20,000円
畠山茂房	現金	10,000円 (敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座

さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

NW航空のエアケア・チャリティー 全国協議会がパートナーに



NW航空機内誌に紹介された全国協議会の記事

全国骨髄バンク推進連絡協議会は、ノースウエスト(NW)航空「エアケア・チャリティー・プログラム」の2000年上半期(1月から6月)のパートナーに選ばれました。

このプログラムは、特定の非営利(NPO)・非政府(NGO)団体の活動を、一定期間、機内ビデオや機内誌を通じて搭乗客へ紹介するとともに、募金やボランティア活動への参加を広く呼びかけます。さらに、NW航空のフリー・トラベル・プログラム「ワールド

バンク」のマイレージ寄付もあわせて募ります。NW航空のエアケア・チャリティー・プログラムは、昨年下半年より日本離発着便においても開始され、最初のパートナーとして「国境なき医師団日本」が選ばれました。この期間中に国境なき医師団がノーベル平和賞を受賞したことなどで反響も大きく、寄付されたマイレージは東南アジアへの航空券にして数十往復分に相当したそうです。

NW航空はこれまでも全国協議会には、全米骨髄バンク年次総会への代表団派遣について、無料航空券を提供されるなど、協力関係を保ってきました。ところが、今回のエアケア・チャリティーのパートナー

料航空券を提供されるなど、協力関係を保ってきました。ところが、今回のエアケア・チャリティーのパートナー

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655



機内ビデオ収録中の中村勲九郎さん

このキャンペーンのため、すでに機内誌では4ページにわたって骨髄バンクと全国協議会の紹介記事が掲載されています。また、昨年11月には、機内ビデオの収録のために、海部幸世会長と先日ドナー登録をした歌舞伎俳優の中村勲九郎さんが渡米し、ミネアポリスにあるNW航空本社内のビデオスタジオにてビデオ収録を済ませました。

なお、寄付されたマイレージは、海外から日本の患者さんに提供される骨髄の運搬などに使うことができます。全国協議会は1月18日に文書で骨髄移植推進財団に航空券の提供を申し入れました。

第86回 運営委員会

1月16日(日) 全国協議会事務所にて第86回運営委員会を開催し

左記事項について活発な協議・報告がなされました。

新規 加盟団体紹介

昨年12月、新たに2団体が全国協議会への加盟を申請して承認されました。これで、加盟団体は48団体となりました。新たに全国協議会の仲間となったのは、徳島の会と和歌山の「ひこばえ」です。入会のメッセージが届きました。

とくしま骨髄バンクを支援する会

代表 池田良一



和歌山血液疾患患者家族の会「ひこばえ」

代表 北山瑛子



みなさん、はじめまして。この度、全国協議会に加盟させていただきます「とくしま骨髄バンクを支援する会」です。

長らくの休眠から去年の全国キャラバンでたまたま起こされ、目を覚ませば、ドナー登録者数なんと全国最下位(名譽のため人口比ではまだ)。これではいかん。何かせな、全国でがんばって、みなさんに申し訳ない。

はじめまして。「ひこばえ」と申します。私たちが活動を始めて6年になります。切り株に芽生えるひこばえのように、元気に会が育つことを、骨髄が元気に育つことを願ひ名づけました。集めた情報を地域の中の必要な人に届けることができればと思ひ、毎月の例会「井戸端会議」、一年に一度の「わ紀あい愛音楽会」、社会福祉協議会との研修会、

【協議事項】

- 10周年記念事業
- 公開フォーラムの開催
- 12月(京都) 全国協議会大会
- NW(ノースウエスト航空)マイレージ使用
- 血液難病患者会設立構想(継続審議)

【報告事項】

- 今後の事務局体制
- NPO法人化に伴う諸規

則について

- 情報誌6号
- 日本ドラッグチェーン募金箱
- 佐藤さち子患者支援基金

※1月から週2日ずつ事務局のお手伝いを鈴木紀子さん(千葉)と竹村政明さん(東京)にして頂くことになりました。皆さんどうぞよろしく!

地元放送局で骨髄バンクへの登録を呼びかけるラジオ番組の製作、地元出身の落語家・桂文福さんの協力による「ひこばえ寄席」など、地域の中核で！をモットーに活動を続けてまいりました。

このたび、新しい仲間を求め、より多くの情報を求めて全国協議会へ参加することになりました。どうかよろしく、ご指導いただきますようお願いいたします。

<連絡先>
◆とくしま骨髄バンクを支援する会
〒770-0864 徳島市大和町2丁目2-78-101 池田方
TEL:088-652-9789 FAX兼用
◆和歌山血液疾患患者家族の会「ひこばえ」
〒649-0123 和歌山県海草郡下津町丁184 北山方
TEL:073-492-2777 FAX兼用

黄色と黒のチカラ。
肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

J-リゲイン

●大人1日1回1本、J-リゲイン 100ml・194円
価格はメーカー希望小売価格(本体価格)

健康?!

本気で考えるなら
この一本。

健康志向のあなたに、嬉しい海の贈り物
バイオ飲料
ポイタン-U
1ケース(50ml×30本)単位で発売しております。
*特許出願中

＜販売先＞
宝バイオヘルスケア株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田2-22-11
TEL:0120-810-771
*一部店舗販売店においても販売しております。
＜発売先＞
宝通造株式会社バイオ事業部門
TEL:077-543-7208

演劇「友情」千穂楽迫る

大きな感動を呼んで、東京・赤坂で4カ月ロングラン公演中の演劇「友情」も、いよいよ2月22日で千穂楽を迎えます。

まだ観ていない方、もう一度観たい方、どうぞ足を運んで下さい。

◆開演 平日 18:30

◆チケット料金
大人5000円
高校生以下1800円

◆予約・問い合わせ
TEL:0335880896

土日祝日 13:30
千穂楽は 16:30
◆会場「シアターVアカサカ」(地下鉄千代田線赤坂駅5番出口より徒歩3分)



出演者とボランティア仲間との記念撮影

各地のたより

各地のたよりに写真を添えてお寄せください。

舞鶴市の成人式

10月10日、舞鶴市主催の成人式が舞鶴市民会館で行われました。成人の日が1月15日から1月の第2月曜日に変更されて初めての年、2000年の初めでもあります。



人口約10万人の舞鶴市は約3000名強の男女が成人式を迎えますが、当日は1000名以上が参加したようです。女性の9割以上が暗れ着で着飾り、男性も一部紋付き袴あるもののスーツ姿が多く、華やかでいてクラス会のような雰囲気でした。

市職員の入場の案内もかき消され、あつちでべちゃくちや、こつちでパチリとにぎやかでした。ロビー内はうるさいくらいでした。舞鶴では昨年は式典中、市長がうるさいので注意したと新聞には掲載されています。

私たち会員、若干4名も



毎年恒例、世田谷信用金庫の皆さんのご協力により、昨年12月と今年1月、東京の会として世田谷ポロ市に出店をしました。今回は「長野松川おいでなんしよの会」有志の皆さんのご協力により約80箱の「りんご」を販売することができました。試食の皮むきが追いつかないぐらいの好評で、午前中に買って美味いから午後にも買いにくる人が続出。もう次回のリピーターは確

東京 驚異のポロ市

朝9時から11時頃まで会場、ピラとティッシュを約750セット配布しました。ここでもキティちゃんティッシュは人気者でした。(キリンの会・福岡)

その他、直輸入の「韓国のり」、北海道釧路の「鮭とば」、いつもの「甘納豆」、高知馬路村の「ゆずぼん酢」、新潟の会作成の「手作り小物」、皆さんから寄せられたバザー用品など飛ぶように売れ、何と売り上げ12月と1月で99万円を記録しました。皆さんのご協力に深く感謝いたします。よく、バザーで売れ残りそうな品物がありますが、ポロ市は別です。驚異のポロ市、恐るべしであります。(若木)

埼玉 白血病フリーダイヤル講演会

1月8日埼玉連絡会は、新年会の記念講演に全国協議会運営委員の村上順子さんを招き、「白血病フリーダイヤルから見た患者・家族の姿」について話を聞きました。

村上さんは、フリーダイヤルの基本的姿勢として、①適切な情報提供②闘病意欲を高める手助け③家族や主治医との関係を良好に保つための援助④病気の段階の確認⑤守秘義務⑥患者と

再生つばさの会 九州地区「医療講演会・相談会」のお知らせ

この度「再生つばさの会」(再生不良性貧血、MDS、PNH、患者・家族の会)では、九州の地において初めての「医療講演会・相談会」を開催いたします。これらの病気で悩んでおられる患者さん・ご家族の方、またその知人の方など大勢の皆様参加をお待ちしております。

日時：平成12年2月26日(土) 13:00~16:30 (12:30受付)
場所：福岡市女性センター/アミカス4Fホール (西鉄高宮駅に直結しています。)

参加費：無料

プログラム：

1. 「小児再生不良性貧血・小児骨髄異形成症候群の病態と治療」
九州大学医学部附属病院小児科 大賀正一先生
2. 「成人再生不良性貧血の病態と治療」
九州大学大学院医学系研究科 岡村孝先生
3. 「成人骨髄異形成症候群・発作性夜間血色素尿症の病態と治療」
東京女子医科大学血液内科 溝口秀昭先生
4. 医療相談会(質疑応答)

問い合わせ先：再生つばさの会関西支部
原和代まで
TEL&FAX: 0942-37-1757 (夜間)

100%あなたの心の味方です。

心のやすらぎを求めるすべてのひとに...
あたたかい心の宅配便、メンタルデリバリーサービスは、前向きに力強く生きていくための100%あなたの心の味方...話し相手です。

メンタルケア協会の「精神対話士」 派遣の方法

当協会が派遣いたします「精神対話士」は、メンタルケアのスペシャリスト養成講座を修了し、厳正なる選考を経て協会に登録された、心のケアに関する専門職です。登録後も定期的なフォローアップを受けており、守秘義務については万全を期しております。

●ご希望の場所にお伺いし、まごころを込めて対話いたします。
●料金25,000円(税込)
(原則として週1回80分×4回)
※メンタルケアのスペシャリスト養成講座(札幌・東京・大阪・福岡)の受講についてもご案内中です。

●お問い合わせは... **メンタルケア協会**
(会長 医学博士 市橋保雄、元慶應義塾大学病院長)
デリバリー事業部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-6-1 原宿ハレフランス549
Tel. 03-3405-7270 Fax. 03-3405-8580
http://www.nttl-net.ne.jp/mca E-mail: mca@sepia.ocn.ne.jp

相談者の関係確認、の6点について具体例を引用して説明され、とりわけ、電話応答で心掛けていく内容について詳しく解説されました。

また、相談の結果として、相談者の情報量の差が顕著なこと、インフォームドコンセントの不足、奥底に経済的問題があることなどをあげ、今後の課題として、更に聞く力を養い、いつでも相談者にあなたを支える仲間がいることを伝える努力をしたい、と結ばれました。

参加者からは、「担当者の苦勞と努力がよく分かった」との感想が出されました。(笠原)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●1999年の年間移植数「555」例、2割以上の増加を達成
1999年の骨髄バンクの移植件数は98年の453件に比べて23%の伸びを示し、555例となりました。過去4年の実績は、96年368例(前年比7.9%増)、97年398例(同8.2%増)、98年453例(同13.8%増)、99年555例(同22.5%増)。骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄移植は、1993年1月28日に第1例が開始され、間もなく満7年を迎えますが、7年目になって2割以上の伸び率を示すことができました。

●「移植適応条件の緩和」で、12名の患者さんが移植されました
昨年1月から、「患者登録の年齢制限」を緩和しました。それまで50歳まででした年齢を、患者の同意のもとに移植施設から申請があった場合には、年齢制限を緩和しました。昨年12月末までに、患者登録年齢51歳以上の患者さん9人が移植を受けられました。また、昨年4月からは、「HLA1抗原不一致ドナーからの移植」も、

- 1) 移植施設の倫理委員会の承認がある
- 2) 患者の同意書がある

一を条件に受け付けを開始し、昨年12月末までに3例の1抗原不一致移植が行われました。なお、血清学的レベルでの「1抗原不一致ドナーコーディネイト依頼」は、約40の医療施設から出されています。

●国庫補助金「1億2千万円」増額、コーディネイト迅速化に向け体制充実へ
平成12年度の家計予算が、昨年末の12月24日政府原案として閣議決定され、骨髄バンク事業関連予算が大幅に増額されました。財団に対しては、主にコーディネイト業務の充実のためとして、本年度より約1億2千万円増額され、2億6千5百万円が国庫補助される見込みとなりました。また、日本赤十字社に対しては「ドナー登録者受付増大のため」として2億7千万円増額され、約6億5千万円が補助されます。なお、来年度より「ドナー登録受付業務」を行っている各都道府県(保健所)に加えて、指定都市、中核市、特別区も国庫補助の対象として加わることとなりました。

●「移植患者さんと提供ドナーさんの対面」について(今後の方針)
対面問題は、過去約2年間にわたり企画管理委員会などを中心に議論され、昨年10月「対面禁止の方針は当面維持するが、極めて限定的な対面を調査研究として実施する」旨に意見がまとまり、理事長に意見具申されました。12月、理事長から各理事、監事、評議員に対し、方針の意向調査が行われました。その結果、「調査研究を行うための委員会を設け実施方法を検討すること」となっています。

●DLT(ドナーリンパ球輸注療法)、1月4日より開始しています
ドナーリンパ球輸注療法(DLT)については、白血病等の再発に対しても1月4日より、申請を受け付け開始しました。なお、申請書類などは、すべての非血縁者間骨髄移植認定病院に送付しています。

●国際協力事業の状況(97年4月~99年12月)、HLA照合サービスの状況
日本→米国 予備検索391件(適合255件)、正式登録228件、移植累計53件(うち12月は1件)
米国→日本 予備照会909件(適合29件)、正式登録47件、骨髄提供の実績なし
日本→台湾 予備検索239件(適合30件)正式登録83件、移植累計5件(うち12月は0件)
台湾→日本 予備照会1件(適合0件)、正式登録1件、骨髄提供の実績なし
日本→韓国 正式登録40件(適合5件)、移植0件
韓国→日本 正式登録56件(適合24件)、提供累計10件(12月1件、提携前の登録32件・提供6件)
その他の国→日本 正式登録64件、提供累計5件(うち12月はオランダへ1件、累計 香港へ3件・英国1件)
*) HLA照合 12月83件(累計2015件)、うちBMDW照合12月31件(累計917件)

●日本骨髄バンクの現状(1999年12月末現在)

	12月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,202	126,014	144,416
患者登録者数	123	1,779	8,720
骨髄移植例数	30	-	2,384

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。